

でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

No.5 令和元年10月23日

発行：きこえとことば支援センター
(秋田県立聴覚支援学校内)

冬の補聴器管理

朝晩はめっきり冷え込む季節となりました。夏の汗対策と同様、この季節の管理にも注意が必要です。寒いところから暖かい屋内に入ったときなど、気温差による結露が生じることがあります。結露が原因となり補聴器の聞こえが悪くなったり、放って置いて故障したりする場合があります。

また、熱に弱いので暖房機器の近くに置いたり、乾燥させるためにドライヤーの熱風で乾かしたりすることも危険です。



結露により補聴器のチューブの中に水滴が付くことがあります。

- 結露の危険があるときは、乾燥ケースに入れて室温に戻します。
(×電池を入れたまま乾燥ケースに入れると電池の減りが早まります。)



シールをはがした空気電池は大変乾燥に弱いため、補聴器と一緒に乾燥ケースに保管すると、電池寿命が短くなります。補聴器から取り外し、乾燥ケースに入れずに保管しましょう。また、冬場は空気が乾燥することも多いです。こまめに部屋の換気をすることも電池の持ちをよくするコツです。

実践紹介 尾去沢小学校 ～児童一人一人が目的意識をもったのぞんだ難聴理解学習～

尾去沢小学校には、2年生に難聴学級があり、1名が在籍しています。本校では、担任の関優子先生の計画立案のもと、難聴理解学習の実施に協力しています。昨年度は1、2年生で実施し、今年度は、新1年生と5年生で行いました。ここでは、「来年度、最上級生となり、下級生の手本となってほしいから」という明確な考えのもとで実施した5年生での取組を紹介します。

【5年生での実施】

7月 アンケート実施



9月 帰りの会で予告



9月 難聴理解学習実施



9月 朝の会で振り返り

児童が目的意識をもって学習に取り組めるよう、事前にアンケートを実施。児童が知りたいことを尾去沢小と本校とで共有し、学習内容を設定。

<児童の知りたいこと（一部）>

「人工内耳は、雨が降ったらどうなるか。」
「ロジャーマイクは学校にあるけど、家ではどのようにして聞いているのか。」

<児童の感想（一部）>

- ・人工内耳は、水や汗、ボールなどにあたると壊れたりすると分かりました。
- ・言ったつもりでも伝わっていないといけなかったので、前からゆっくりはっきりと話したいです。
- ・Aさんの話を聞いて、今まで以上にやさしくしたり守ってあげたりして、障害のある人を助けたいです。



この時間は、難聴児Aさんへのねらいも設定して行いました。Aさんは、勇気を出して5年生に自分の気持ちを手紙で伝えた後、「(児童クラブで)5年生と話げできた。」と喜んでいたそうです。

児童のニーズに合わせ、計画的に実施している成果が表れてきています。

ことばの指導の進め方

難聴学級の先生方から「ことばの指導が必要だと感じているが、どのように進めたらいいか難しい」といった声を耳にすることがあります。

本校では、子どもの実態に応じてことばの指導を行うため、聴覚障害者用教科書（小学部；言語指導／中学部；言語）を使用しています。これは文部科学省著作のもので、学年に応じて、日々のやり取りの中で語彙を拡げる工夫の仕方や、読み書きの力を育てる单元などが載ってあります。

この著作本は、特別の教育課程による場合において、小・中学校の難聴学級でも使用できるようになっています。教育課程の中に自立活動の時間が設定されている場合、こちらの著作本を採択、使用してことばの指導を進めていく方法も考えられます。



【小学1，2年生用】



【小学3，4年生用】



【小学5，6年生用】



【中学生用】

<使い方の例>

【1年生】

児童の実態に合わせて2年生の教材を選択した例

- ①題材名「みんなのきょうしつ」
- ②ねらい（波線部は独自に設定した箇所）
 - ・自分が使っている学習用品の名称を正しく言うことができる。
 - ・学習用品の用途を説明することができる。
- ③主な学習活動
 - ・自分が使っている学習用品について話す。
 - ・学習用品についてのクイズを考える。（用途の説明）（例）問題：紙を切るときに使う物 答え：はさみ

【5年生】

教科書にある題材を、防災の日に合わせて実施した例



- ①題材名「電気とくらし」
- ②ねらい
 - ・文章の組み立てや叙述に即して正しく読む。
 - ・台風や豪雨等の災害を身近なものと捉え、家庭でできる対策を考える。（独自に設定）
- ③主な学習活動
 - ・災害に関するニュースの理解（5W等）
 - ・停電になったら困ること、準備しておいたほうがよいものを本文、新聞記事、イラスト等から考える。

おらせ

※興味のある方はぜひご連絡ください!!

〈先輩と語る会〉

日時：令和元年12月13日（金）
13：30～14：30
場所：聴覚支援学校会議室西
講師：小松祐樹 氏（秋田信用金庫）
（平成23年度高等部専攻科情報デザイン科在学）
講話：「働くために大切なこと
～就職に向けての心構え～（仮）」

〈進路研修会〉

日時：令和元年12月16日（月）
15：50～16：50
場所：聴覚支援学校会議室西
講師：秋田市障害福祉課職員
内容：現行の福祉サービスについて、サービス利用までの手続きについて

きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）【直通携帯電話】090-8784-6302
〒010-1409 秋田市南ケ丘一丁目1番1号

【聴覚支援学校】TEL：018-889-8572 FAX：018-889-8575

E-mail：chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp